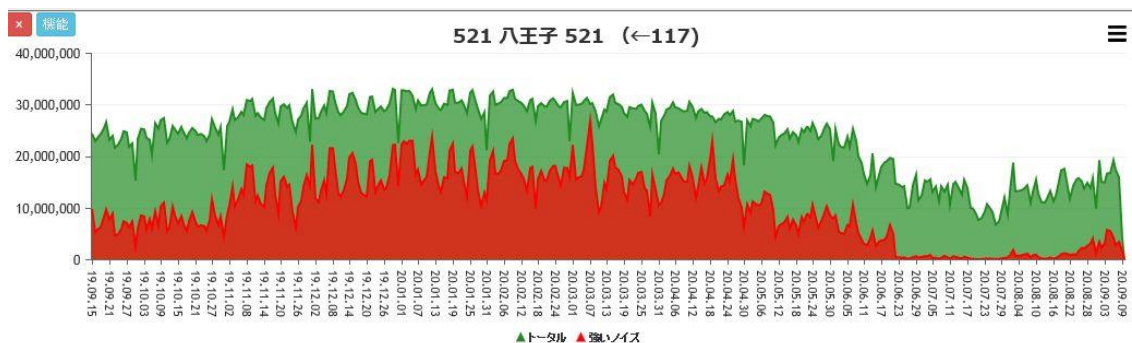


200909 関東直下型地震の可能性について

本日、9月9日の逆ラジオ通信では 関東地方について八王子の長期の巨大なデータが現在リバウンド中であることから次のように言っています。

“ 要注意：長期に亘った【八王子】のデータが収束間近のようでしたがリバウンドしています。このデータ量のエネルギーが地震予兆であれば巨大地震が想定されます。今後の推移を注視します。” とのこと。

八王子 360 日データ（日毎）

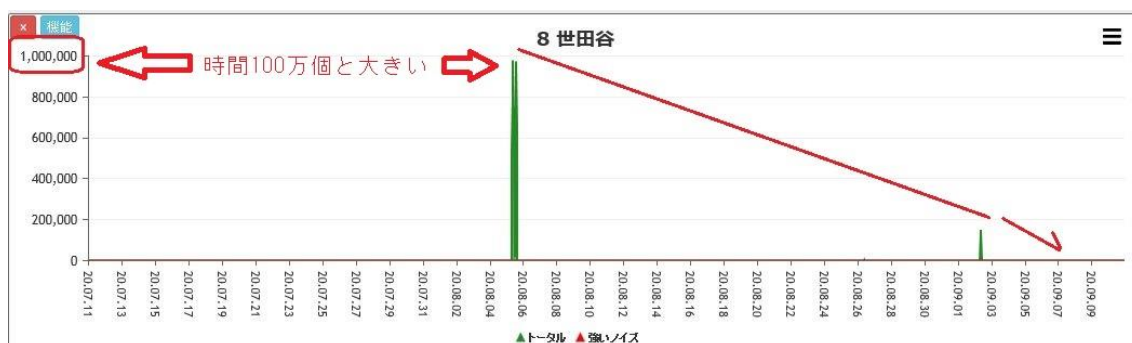


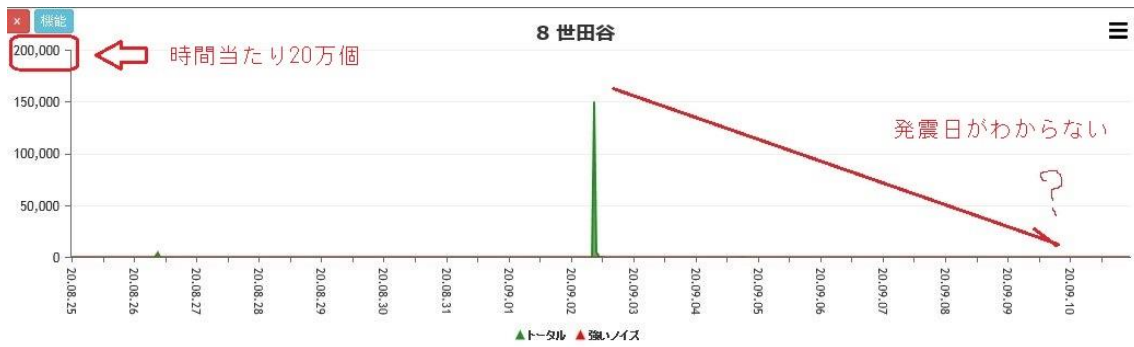
ここで八王子以外の観測点のデータを見ると、気になるものがいくつかあります。

① 世田谷のデータ

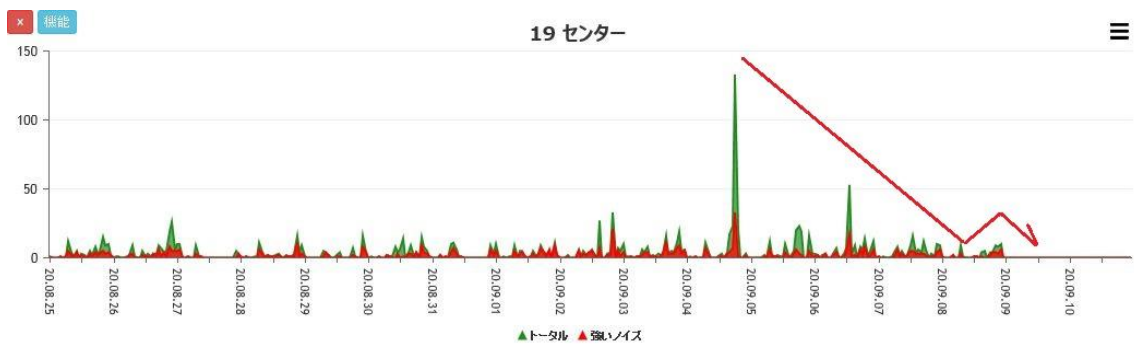
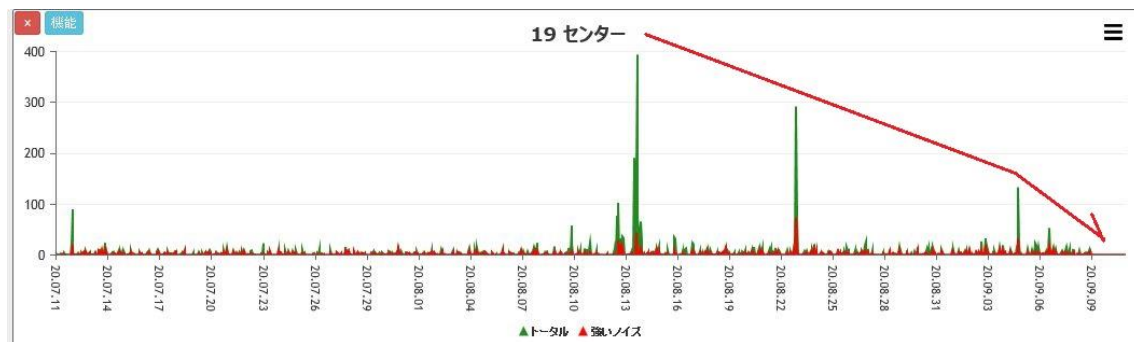
先月 8月6日に単独で大きな1本立ちが出ています。データは時間当たり100万と、とても大きく、少し先端が2又に割れていて、これはなぜか大地震前に出るデータによくあるパターンです。

このデータは単独で、他に同期した観測点が無い事から発震日がわからないのですがさらに9月3日にもう1本立ちのデータが出ました。こちらは、前の1本立ちほどは大きくないですがそれでも1時間あたり20万の大きさであり、この2本のデータから関東直下の地震の可能性が考えられます。





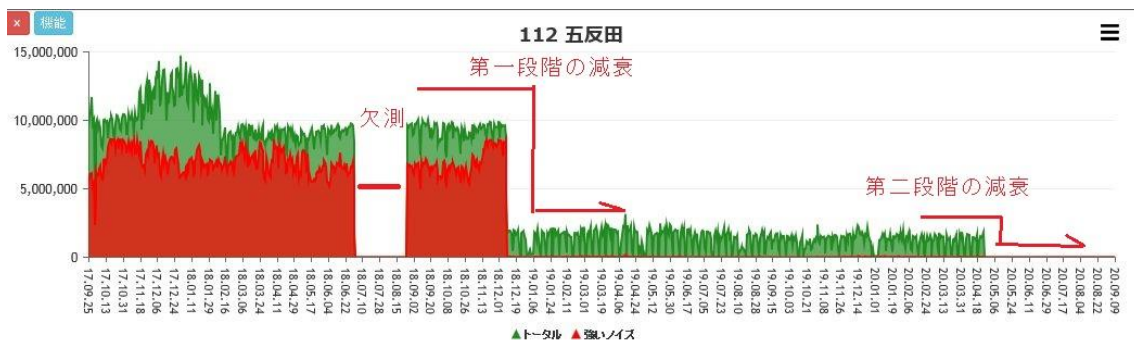
② つぎに同じ世田谷にあるセンターのデータですが こちらは時間 400 以下ととても小さいものですが 減衰、収束の傾向になっています。



③ 五反田の長期データ

以前から 長期に続く五反田のデータが 3 年間以上かけて 第一段階の減衰、さらに第二段階の減衰を経て、最終の収束に近づいています。

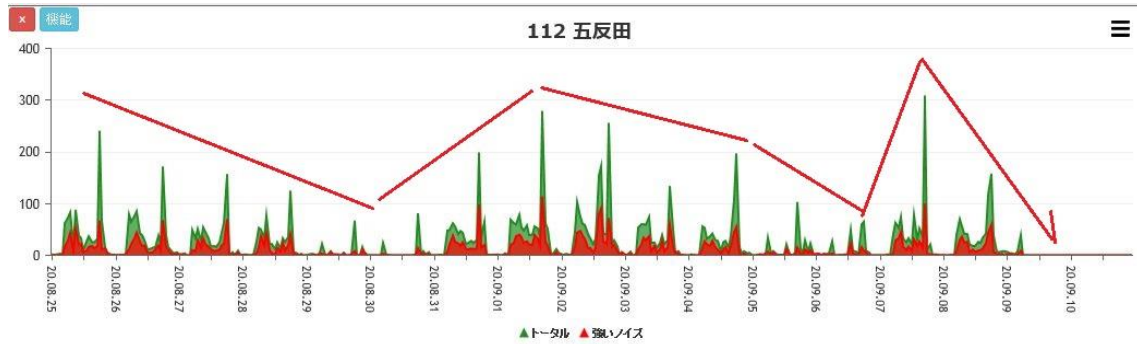
五反田 1080 日 (3 年) の長期データ



五反田 180 日の長期データ



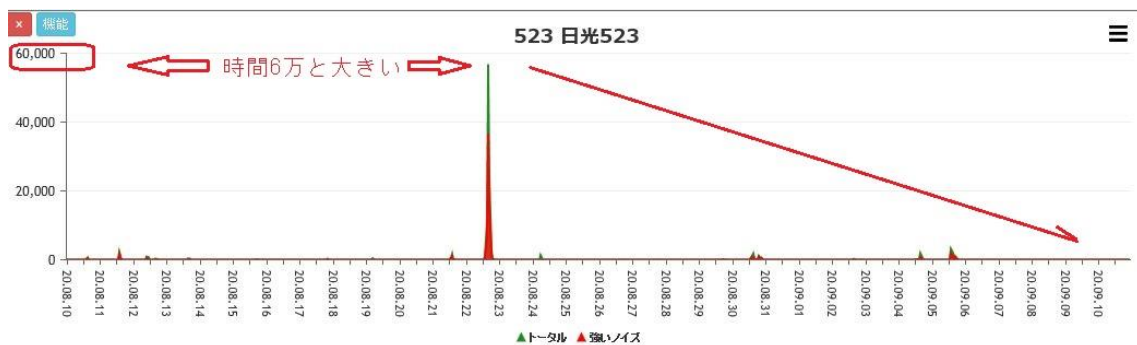
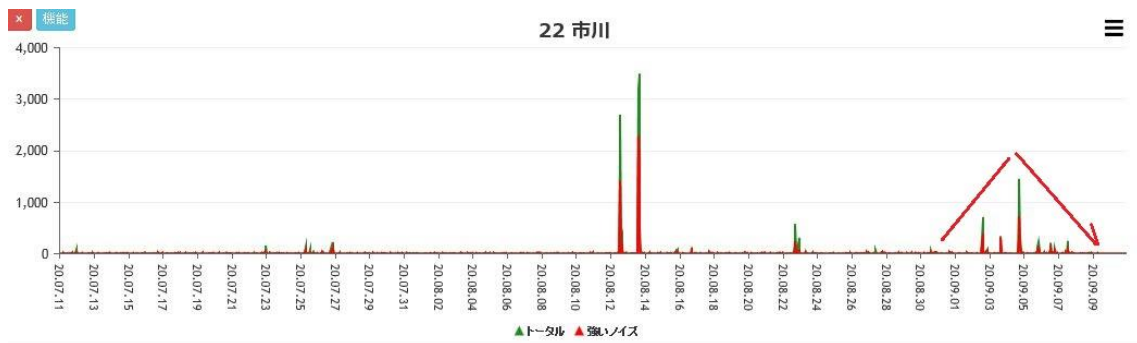
五反田の直近の15日間データ

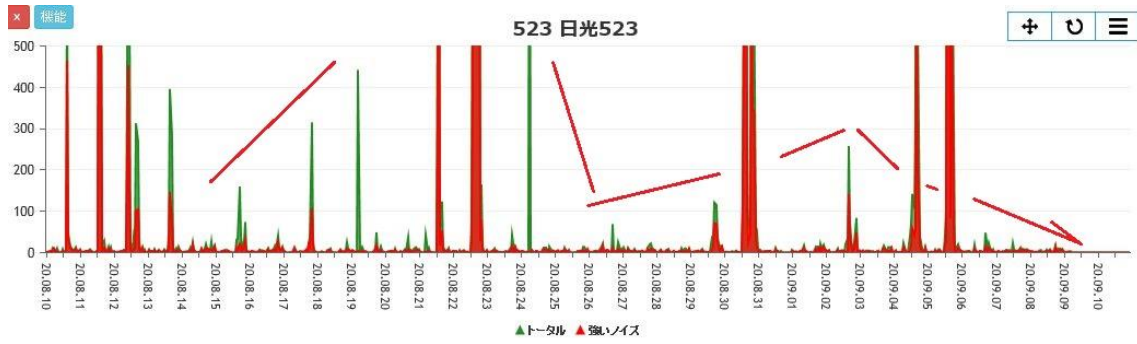


④ その他 関東、東海地区の周辺のデータ

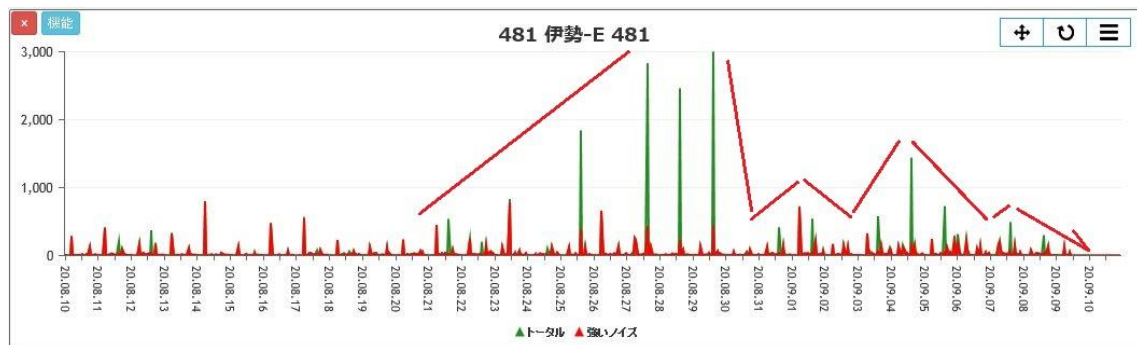
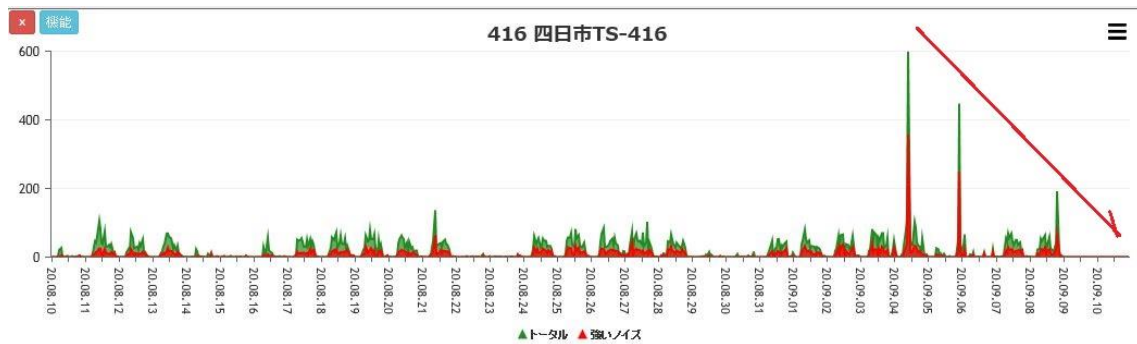
市川、日光、御殿場、四日市、伊勢 E481 を見ると、いずれも収束が近い状態ですが日光は8月23日の1本立ちが 時間6万と大きなものです。

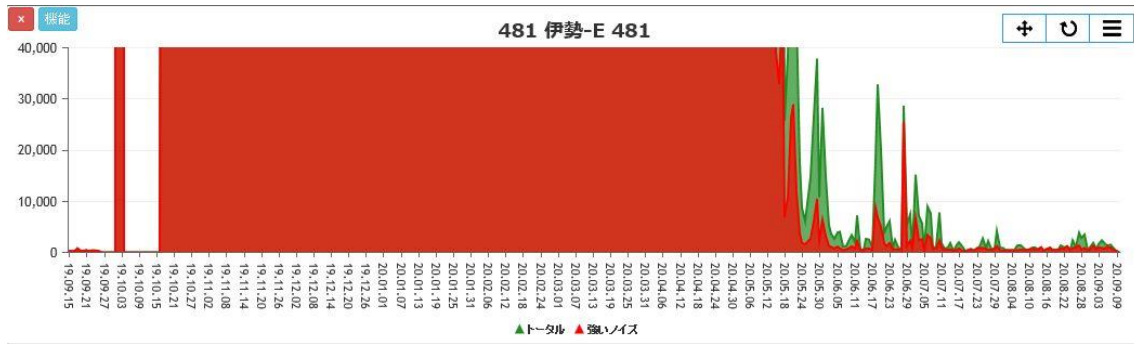
また伊勢 E481 は これも長期につづく大きなデータの長い減衰から最終の収束に近い状況と考えられることから要注意です。





東海地区の収束状況





⑤ 三浦半島の異臭騒ぎ（6,7,8月3回）

三浦半島で 6月、7月、8月と3回も原因不明の異臭騒ぎがあったことは以前にも書きましたが、いまだ原因は不明のままです。

2020年の三浦半島の異臭騒ぎ（3回）：

- 1回目>6月4日夜 ガスのような臭い 260件 >月齢12
- 2回目>7月17日午前 同様の119番通報 7件 >月齢26
- 3回目>8月21日午前8時40分ごろ ガスの臭いがする 40件

この異臭が三浦半島近辺の地下で、大地震の予兆として圧力が高まっており、断層の一部の口を開かせて、そこから地下のガスが漏れてきたことだとすると、この先、しばらくの間、三浦半島、東京湾、相模湾、房総沖などを震源とする大地震への警戒が必要になると考えられます。

以前、2003年の仙台の事例では、異臭の約1か月後に大地震が起きています。

<例>2003年仙台でのケース

- 6月24日 仙台市内のガス臭騒ぎが発生
- 7月26日 宮城県北部 M6クラス 1日3回の大地震が発生





三浦半島には図のような断層群があり、今回の異臭の通報のあった場所と近似しています。仮に、これらの異臭が三浦半島近辺の地下で、大地震の予兆として圧力が高まっており、断層の一部の口を開かせて、そこから地下のガスが漏れてきたことだとすると この先、しばらくの間、三浦半島、東京湾、相模湾、房総沖などを震源とする大地震への警戒が必要になると思われます。

<円柱形の岩を人工的に圧縮する実験（ネットより）>

（１）割れ目が入る、（２）割れる少し前に電磁波が出る、（３）コゲ臭いような、ガス漏れのようなにおいがする、（４）破裂する直前に光が出る

まとめ>

上記の①～⑤までの状況をかんがえたときに 関東直下の大地震が迫っている可能性が十分あると思われます。

逆ラジオ通信の記載のように 関東直下の大地震は八王子のデータが収束してからになるか、あるいはもう少し早く発生するか、この段階でははっきりしませんが いずれにせよ危険が迫ってきていることは間違いのないように思われます。

ぜひ大地震の備えを見直したいと思います。